

日吉台学区防災（避難）計画

福山市日吉台学区

2024年（令和6年）10月作成

目次

内容

1	基本的な考え方	1
2	活動方針	2
	(1) 平常時の対応	2
	(2) 災害時の対応	2
3	日吉台学区の特性	3
	(1) 日吉台学区の概要	3
	(2) 日吉台学区の人口	5
4	日吉台学区の過去の災害	6
	(1) 日吉台学区の過去の災害（風水害）	6
	(2) 日吉台学区の過去の災害（地震・津波）	7
5	日吉台学区に予想される災害（風水害）	8
	(1) 日吉台学区に予想される水害	8
6	福山市全体に予想される災害（南海トラフ地震編）	9
	(1) 南海トラフ地震による被害想定概要（福山市全体）	9
	(2) 南海トラフ地震による津波の被害（福山市全体）	10
7	日吉台学区で想定される地震被害	11
	(1) 想定される地震	11
	(2) 地震による液状化現象	12
	(3) 津波の到来	13
8	避難行動の基本方針（風水害編）	14
	(1) 風水害の避難先	14
	(2) 風水害の避難経路	14
	(3) 各地域の避難経路図	15
9	避難行動の基本方針（地震・津波編）	16
	(1) 地震が発生したら	16
	(2) 日吉台学区における津波の被害想定	16
	(3) 各地域の避難経路図	16
10	避難行動の考え（具体的に気を付けること）	18
	（資料編）防災に役立つ情報	0
	【資料1】チェックリスト	1
	1 地域の危険な場所チェックリスト	1
	2 自主防災活動（共助）チェックリスト	2
	3 わが家の防災力（自助）チェックリスト	3

【資料2】 家庭での防災・減災対策	4
1 避難経路の確認	4
2 家族や友人との連絡方法の確認.....	4
3 非常時持ち出し品の準備	5
4 家の中や周りの点検・補強.....	5
5 情報の収集	6

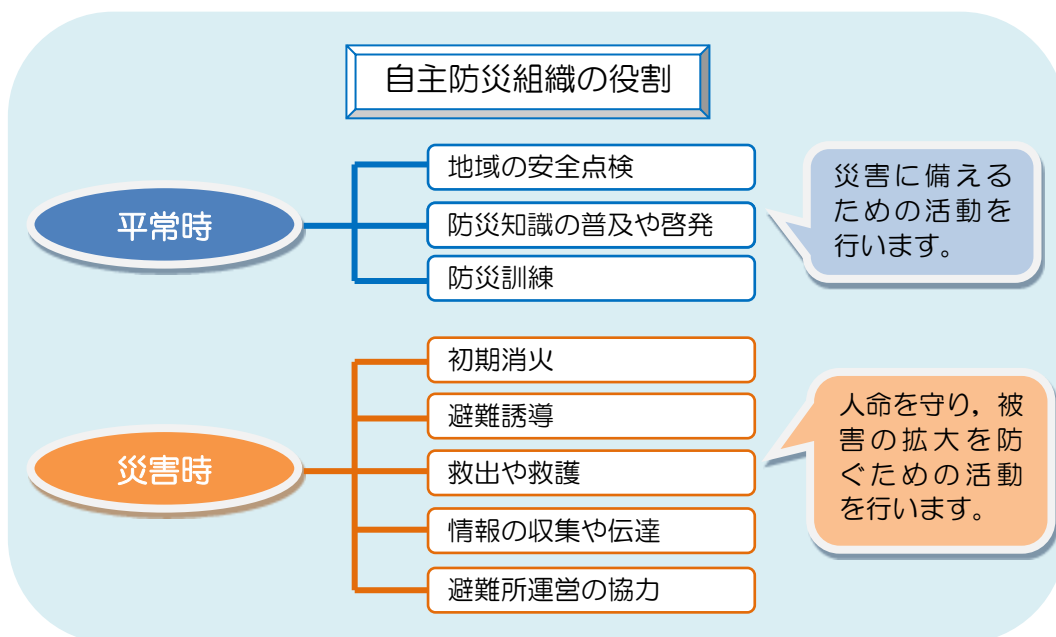
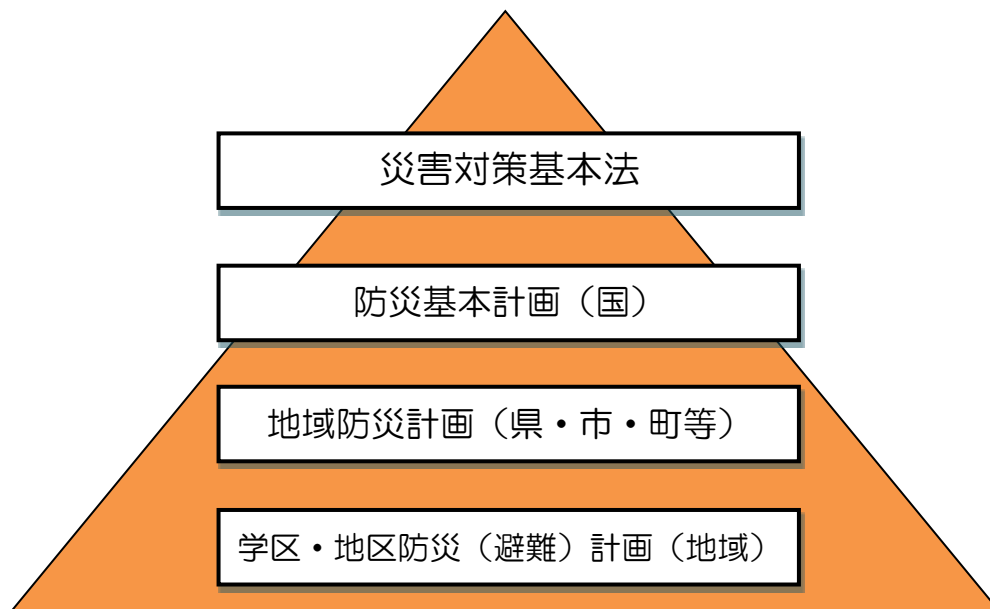
1 基本的な考え方

災害が発生した直後は、交通網の寸断、火災の同時多発などにより、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そんなとき、力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。

実際に、阪神・淡路大震災のときには、地域住民が自発的に救出・救助活動を行い、多くの人命を救うとともに、その後の復興にも大きな力を発揮しました。

また、東日本大震災のときのように避難所生活が長引く場合にも、地域住民が助け合って、さまざまな困難を乗り越えなければなりません。

自分たちの地域では、「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えで、地域のみんなで助け合いながら、災害に強いまちづくりを進めます。



2 活動方針

(1) 平常時の対応

いざというときに地域の力が発揮できるよう、地域のみんなで協力して防災活動に取り組みます。

① 防災知識の普及・啓発

防災対策では、地域住民の一人ひとりが防災に関心を持ち、準備することが重要です。地域住民への防災知識の普及や啓発活動を行います。

② 地域の安全点検

防災の基本は、自分たちの住むまちを知ることです。地域の危険な場所や防災上問題のある場所などを確認し、改善のための働きかけなどを行います。

③ 防災資器材の整備

防災資器材は、災害発生時に活躍します。地域で防災資器材を整備し、日頃の点検や使い方を確認します。

④ 防災訓練

防災訓練は、いざというとき、あわてず、的確に対応するための欠かせない活動です。地域住民に積極的な参加を呼びかけて、訓練を行います。

(2) 災害時の対応

災害時は、負傷者の発生や火災など様々な事態が発生する可能性があります。公共機関とも連携しながら、みんなで力を合わせて活動します。

① 情報の収集・伝達

公共機関などから正しい情報を収集し、地域住民に伝達します。また、地域の被災状況や火災発生状況などを取りまとめ、福山市へ報告します。

② 救出・救助活動

自分自身がケガをしないよう注意しながら、みんなで協力して負傷者や家屋の下敷きになった人の救出・救助活動を行います。

③ 初期消火活動

消防車が到着するまでの間、火災の延焼拡大を防ぐための初期消火活動を行います。

④ 医療救護活動

医師の手当てが受けられるまでの間、負傷者の応急手当をして、救護所へ搬送します。

⑤ 避難誘導

地域住民を安全な緊急避難場所などへ誘導します。

⑥ 給食・給水活動

地域で必要な物資を把握し、公共機関とも連携しながら、必要に応じて炊き出しなどの給食・給水活動を行います。

3 日吉台学区の特性

(1) 日吉台学区の概要

日吉台学区は、福山市中心部から東方向へ約5kmに位置し、中心市街地の東側を形成しています。

南北に最大1.6km、東西に最大1.0kmのエリアであり、標高0m～2m程度の低地と、団地として造成された丘陵地で構成されています。

日吉台学区は、南側を手城川が流れており、北側は複数のエリアが、土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域に指定されています。

【地域の特性】

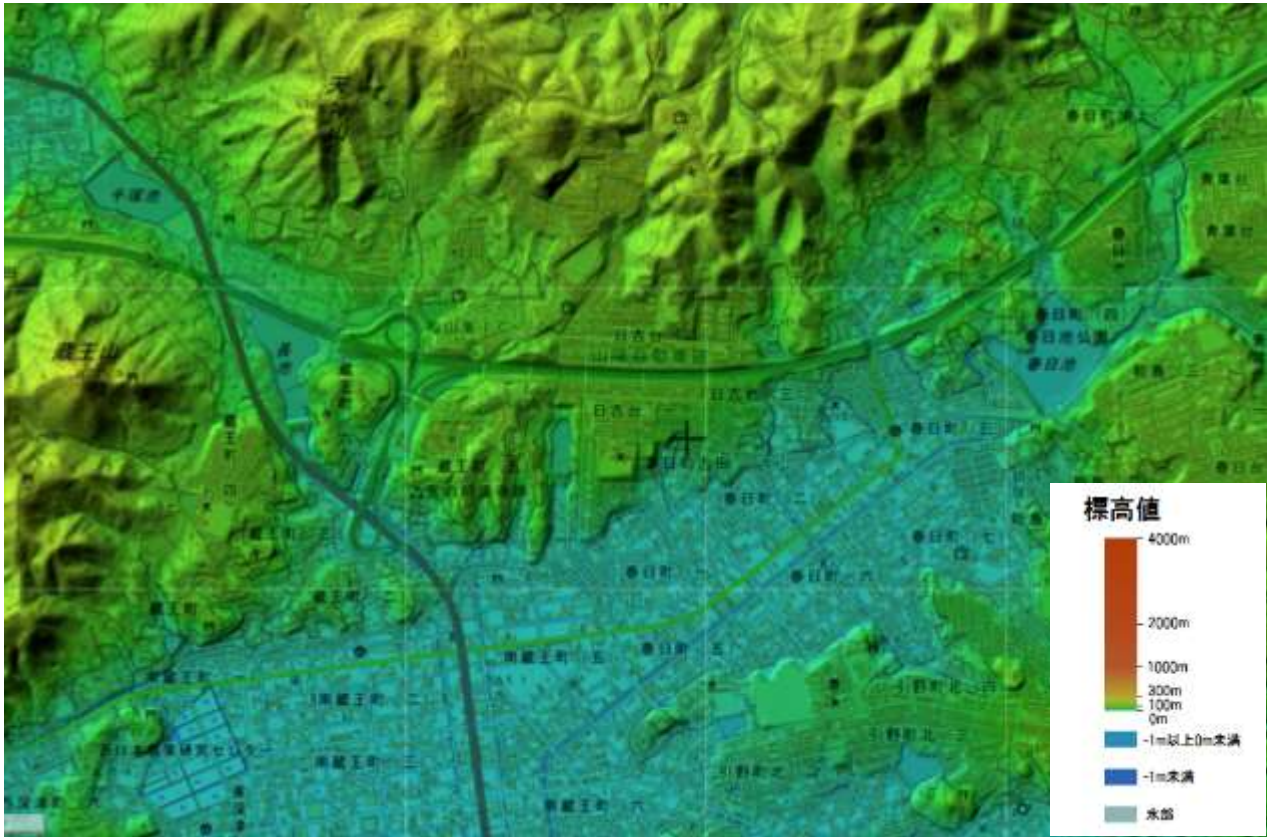
日吉台学区は、春日、日吉台、蔵王町の一部からなり、海拔0mの平坦地から50mまでの団地として造成された丘陵地の形状をしている。地域の特性として災害が発生が予測される箇所として、

- ため池や農業用の水路がある。
- 土砂災害危険箇所指定されている箇所として、蔵王町12区、日吉台団地、小松地区がある。
- 町内には衝上断層がある。

日吉台学区の地図



日吉台学区の地形図



(地理院地図色別標高図)

【予想される災害】

○集中豪雨や台風により次の被害が想定される。

- ・春日町吉田地区周辺での家屋への浸水
- ・蔵王町12区や日吉台団地でののがけ崩れ

○地震や津波による被害

- ・家屋の倒壊や火災
- ・団地内を横切る高速道上の橋脚の損壊
- ・春日町吉田地区周辺（低標高地帯）での津波による家屋への浸水

○暴風、竜巻などによる被害

- ・家屋や電柱の倒壊

(2) 日吉台学区の人口

日吉台学区の人口は、約 6,500 人、世帯数は約 3,100 世帯となっています。(2024 年 3 月現在)。このうち 14 歳以下の子どもの人口比率は 10.4%、65 歳以上の人口比率は 29.9%となっています。

子どもの比率が高いのは、春日町吉田など、65 歳以上比率が高いのは、蔵王町、日吉台二丁目などとなっています。

日吉台学区人口

(単位:世帯, 人)

	世帯数	人口計	内訳(男)	内訳(女)	0歳から 14歳の 人口計	15歳から 64歳の 人口計	65歳以上 の 人口計
2001年(平成13年) 3月末日	2,576	7,258	3,600	3,658	1,483	5,050	725
2005年(平成17年) 3月末日	2,830	7,568	3,697	3,871	1,491	5,200	877
2010年(平成22年) 3月末日	3,032	7,546	3,675	3,871	1,301	5,046	1,199
2015年(平成27年) 3月末日	3,121	7,407	3,593	3,814	1,107	4,651	1,649
2020年(令和2年) 3月末日	3,129	7,012	3,403	3,609	885	4,255	1,872
2024年(令和6年) 3月末日	3,114	6,507	3,172	3,335	676	3,883	1,948

4 日吉台学区の過去の災害

(1) 日吉台学区の過去の災害（風水害）

日吉台学区における近年の災害としては、平成30年7月豪雨災害があります。梅雨前線による豪雨により、福山市の広い範囲において浸水が発生しました。日吉台学区においては大きな被害はありませんでしたが、市内で多数の床上浸水、床下浸水の被害が発生しました。

2018年7月7日西日本豪雨 コスモス前



2018年7月7日西日本豪雨 イズミの駐車場





(2) 日吉台学区の過去の災害（地震・津波）

地震・津波による被害としては、2001年(平成13年)に発生した芸予地震により福山市は構造物等に被害が発生し、市民生活に大きな影響が生じました。



5 日吉台学区に予想される災害（風水害）

（1）日吉台学区に予想される水害

日吉台学区は芦田川の浸水想定区域内であり、最大3mの浸水が想定されている。また、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）及び土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に指定されたエリアがあり、がけ崩れ等の危険もある。



（福山市水害ハザードマップより）

6 福山市全体に予想される災害（南海トラフ地震編）

南海トラフ地震は、今後 30 年以内に 70～80%の高い確率で発生すると言われてい
ます。最大クラスの地震が発生した場合、日吉台学区では最大震度6弱、津波浸水深は最
大で2～3m、津波到達時間は4時間30分後となっています。

被害想定の詳細を以下に示します。

（1）南海トラフ地震による被害想定概要（福山市全体）

※福山市防災計画より

- ① 震度（面積割合） 6強（2.4%）、6弱（32.8%）、5強（63.6%）、5弱（1.1%）
- ② 最高津波水位 3.3m（津波の高さ 1.2m）
- ③ 被害想定

想定項目		県全体	福山市
建物被害	全壊棟数	69,561 棟	16,528 棟
	半壊棟数	200,572 棟	52,004 棟
人的被害	死者数	14,759 人	6,221 人
	負傷者数	22,220 人	6,529 人
ライフライン	上水道（断水人口）	1,069,382 人	421,248 人
	下水道（支障人口）	779,794 人	159,750 人
	電気（停電軒数）	119,836 軒	17,118 軒
生活支障	避難所避難者数	591,506 人	90,726 人

④ 被害想定条件設定

- ア 就寝中で家屋倒壊や津波からの逃げ遅れにより被害が最大となる「冬 深夜」に地震が発生
- イ 年間で最も潮位が高いときに津波が発生
- ウ 震度6強以上の範囲では2分の1、震度6弱の範囲では3分の1の割合で構造物（護岸、堤防、防波堤、水門等）が損壊
- エ 津波に対する早期避難率が低い場合を設定
 - ・ すぐに避難する者 20%
 - ・ 避難するがすぐには避難しない者 50%
 - ・ すぐに避難せず津波が迫ってから避難する者又は避難しない者 30%

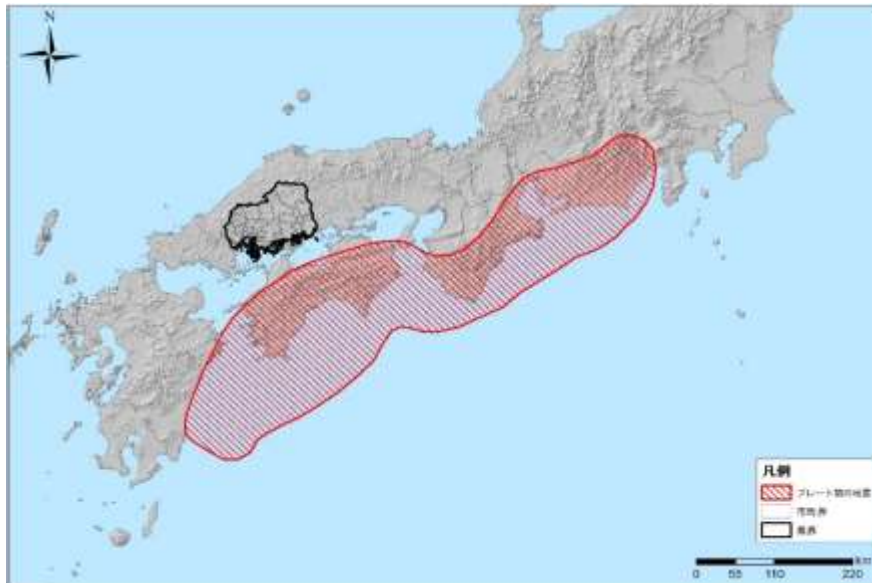


図 想定地震位置図（南海トラフ巨大地震）

内閣府(2012):南海トラフの巨大地震モデル検討会資料

浸水面積（最大の場合） (単位：ha)

	浸水面積（浸水深別）				
	1 cm以上	30 cm以上	1 m以上	2 m以上	5 m以上
福山市	3,355	3,037	2,326	1,438	2
県全体	12,847	10,987	6,770	3,364	8

※ 河川・砂浜部分を除いた陸域部の浸水面積。

※ 四捨五入の関係で合計と面積が合わないことがある。

(2) 南海トラフ地震による津波の被害（福山市全体）

南海トラフ巨大地震による「最高津波水位」、「最大波到達時間」及び「津波影響開始時間」南海トラフ巨大地震による市町ごとの最高津波水位等

	最高津波水位*1		最大波到達時間(分)	津波影響開始時間*2 (分)
	3.3	うち津波の高さ(m)		
福山市	3.3	1.2	270	13

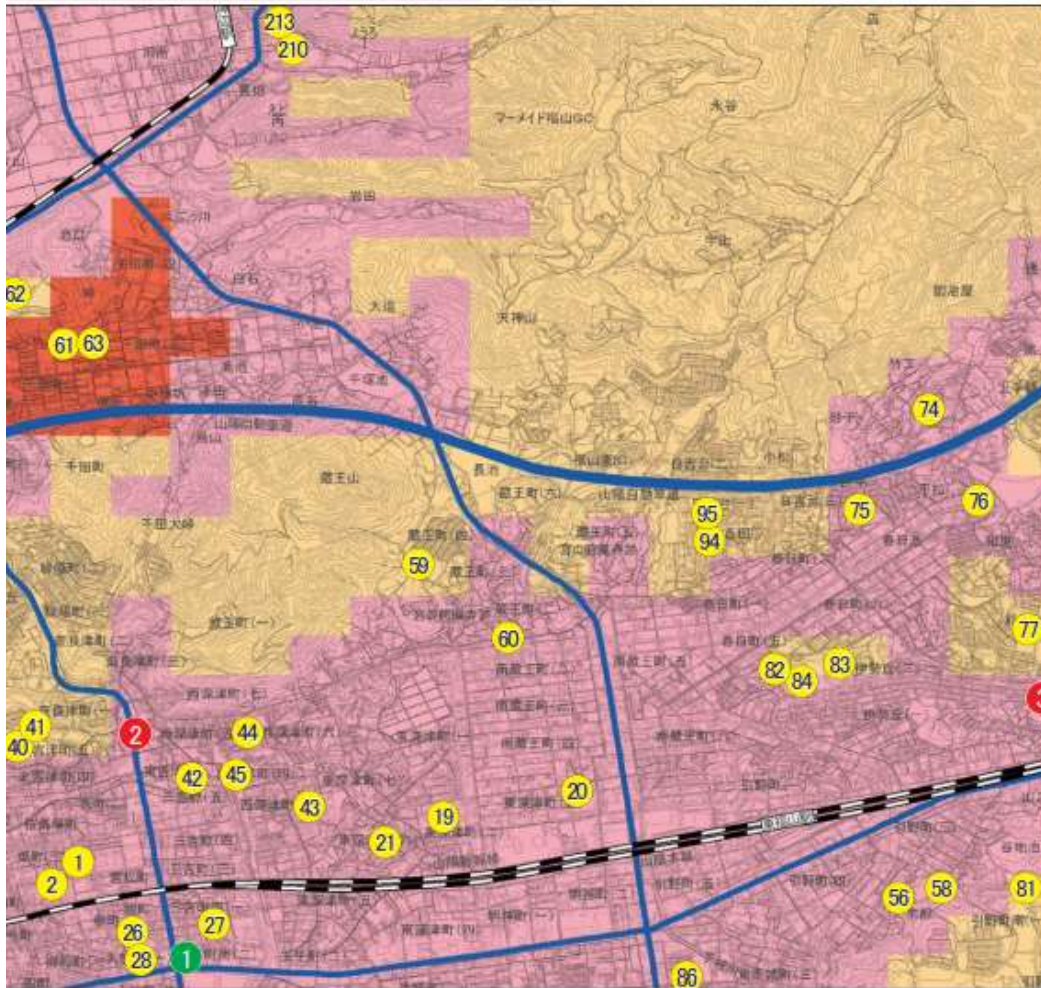
※1 「最高津波水位」は、海岸線における最高の津波水位を標高で表示

※2 「津波影響開始時間」は、海域を伝播してきた津波により、おおむね海岸線において、地震発生後に初期潮位から±20cmの変化が生じるまでの時間

7 日吉台学区で想定される地震被害

(1) 想定される地震

南海トラフ地震が発生した場合、日吉台学区では最大震度は6弱となり、さらに、液状化の可能性も大きくなっています。このため、建物の倒壊、道路の段差などが生じ、津波からの避難に時間を要する可能性があります。



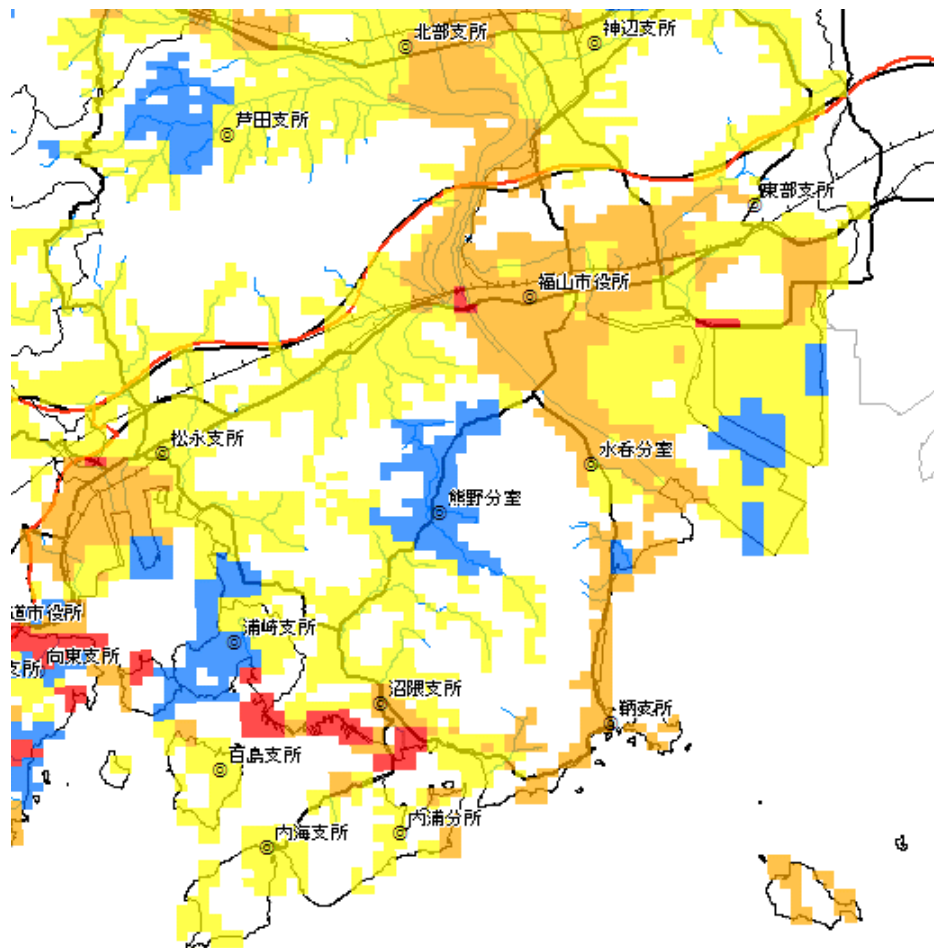
震度階級	震度7	震度6強	震度6	震度5強	震度5	震度4強	震度4
人の体感・行動	目撃していることが多く、はげしい揺れが感じられる。揺れはほんのうらぶらぶ。動揺を感じることも多い。	目撃していることが多く、はげしい揺れが感じられる。揺れはほんのうらぶらぶ。動揺を感じることも多い。	目撃していることが多く、はげしい揺れが感じられる。揺れはほんのうらぶらぶ。動揺を感じることも多い。	目撃していることが多く、はげしい揺れが感じられる。揺れはほんのうらぶらぶ。動揺を感じることも多い。	目撃していることが多く、はげしい揺れが感じられる。揺れはほんのうらぶらぶ。動揺を感じることも多い。	目撃していることが多く、はげしい揺れが感じられる。揺れはほんのうらぶらぶ。動揺を感じることも多い。	目撃していることが多く、はげしい揺れが感じられる。揺れはほんのうらぶらぶ。動揺を感じることも多い。
屋内の状況	想定していない家具の倒壊や、破損が頻りに発生する。	想定していない家具の倒壊や、破損が頻りに発生する。	想定していない家具の倒壊や、破損が頻りに発生する。	想定していない家具の倒壊や、破損が頻りに発生する。	想定していない家具の倒壊や、破損が頻りに発生する。	想定していない家具の倒壊や、破損が頻りに発生する。	想定していない家具の倒壊や、破損が頻りに発生する。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する危険性が高い。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する危険性が高い。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する危険性が高い。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する危険性が高い。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する危険性が高い。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する危険性が高い。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する危険性が高い。
木造建築物(住宅)の状況	耐震性が低い	耐震性が低い	耐震性が低い	耐震性が低い	耐震性が低い	耐震性が低い	耐震性が低い
鉄筋コンクリート造建築物の状況	耐震性が低い	耐震性が低い	耐震性が低い	耐震性が低い	耐震性が低い	耐震性が低い	耐震性が低い

注) 震度はそれぞれの地震で想定される最大の震度を表示しています。

(福山市揺れやすさマップより)

(2) 地震による液状化現象

日吉台学区では、液状化による被害も想定されており、避難に時間がかかり、住宅への深刻な被害が発生します。



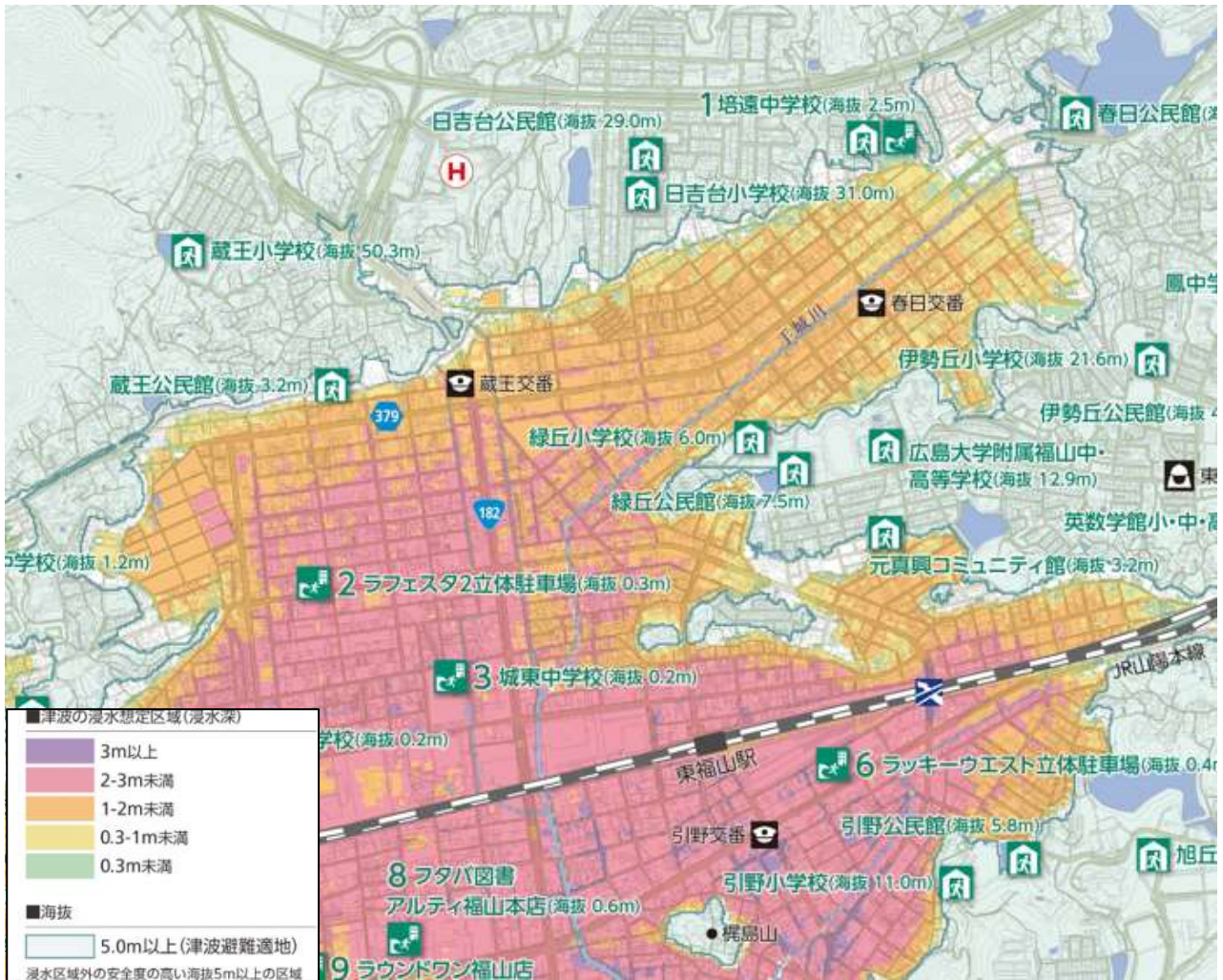
(福山市 HP より)

凡例		(液状化指数 PL)
■	30<PL	…極めて高い
■	15<PL≤30	…かなり高い
■	5<PL≤15	…高い
■	0<PL≤5	…低い
	PL=0	

(3) 津波の到来

日吉台学区では、津波浸水深は最大で2～3mと想定されています。最大波の到達時間は4時間30分後と想定されていますが、地震発生後は速やかに避難行動を開始し、高台や強固な建物の3階以上などに避難する必要があります。

※原則は高台への避難です。



(福山市津波ハザードマップより)

8 避難行動の基本方針（風水害編）

（1）風水害の避難先

風水害は、最新の気象情報や避難情報の発令等について、積極的に情報収集することが重要です。また、避難情報が発令されていない場合においても、危険性を感じた場合には、各自の判断で早めに避難を行うことも重要となります。

避難先・避難経路については、大雨等による道路の通行止めや冠水・土砂崩れの可能性を考慮し、複数の選択肢を設定します。

■風水害時の日吉台学区内及び近隣の緊急避難場所

	緊急避難場所	土砂	洪水
1	日吉台小学校 基幹緊急避難場所	○ 体育館	○ 体育館
2	日吉台交流館	○	○

※基幹緊急避難場所・・・風水害時、各学区で最初に開設する緊急避難場所

※緊急避難場所・・・切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所



避難場所

■災害から命を守るために避難する場所



避難所

■災害によって被災した住民が生活する場所

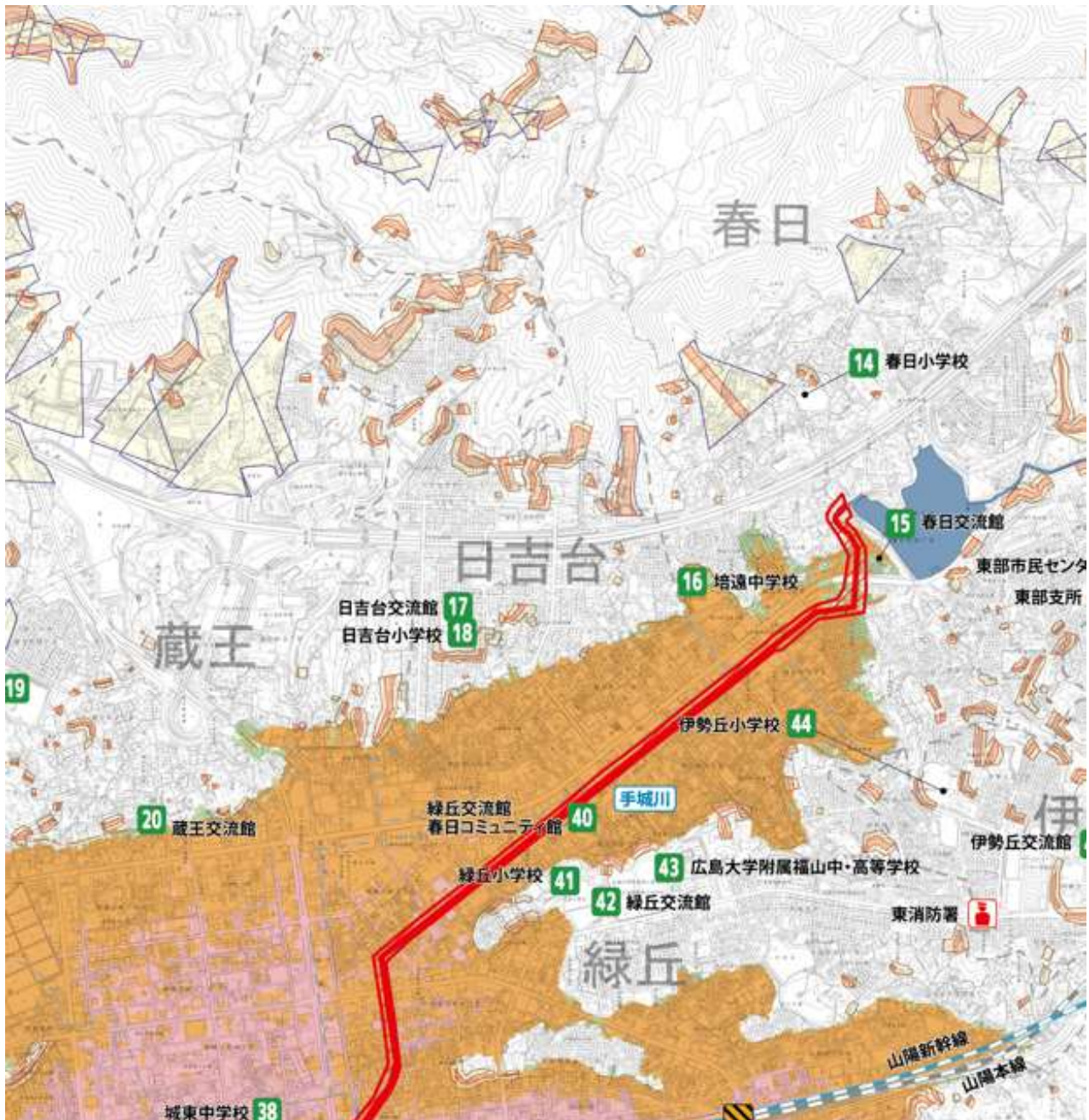
避難場所と避難所の違いに注意しましょう！

（2）風水害の避難経路

日吉台学区の風水害時の基幹緊急避難場所は「日吉台小学校」です。避難する際は、用水路や倒壊しかけた橋梁などを避けるようにしましょう。

(3) 各地域の避難経路図

※自宅の避難経路は各家庭や隣近所で話し合い、この地図に記入しておいてください。



9 避難行動の基本方針（地震・津波編）

（1）地震が発生したら

まずは落下物等から、自分の身の安全を守りましょう。その後、火の始末・避難経路の確保を行い、速やかに屋外に出ましょう。

津波からの避難は、できるだけ早く、少しでも高いところへ逃げるのが基本となります。地震発生時は、建物被害等による逃げ遅れや、道路被害等による避難速度の低下など、様々な状況が想定されます。

津波避難時における様々な状況を考慮して、避難先・津波避難経路について複数の選択肢を設定します。



シェイクアウト 地震の際の安全確保行動

（2）日吉台学区における津波の被害想定

南海トラフ地震が発生した場合、日吉台学区の津波浸水深は最大で 2～3m、津波到達時間は4時間30分後と想定されています。

日吉台学区は、学区の南部が津波浸水域となるため、多くの住民の避難行動が必要となります。

避難については、学区の北側へ高台避難します。高台避難が難しい場合は津波緊急避難場所に避難することとなります。

しかし、液状化現象の発生が想定され、避難に時間がかかる可能性もあるので、地域ごとに避難経路・場所を決めておきます。

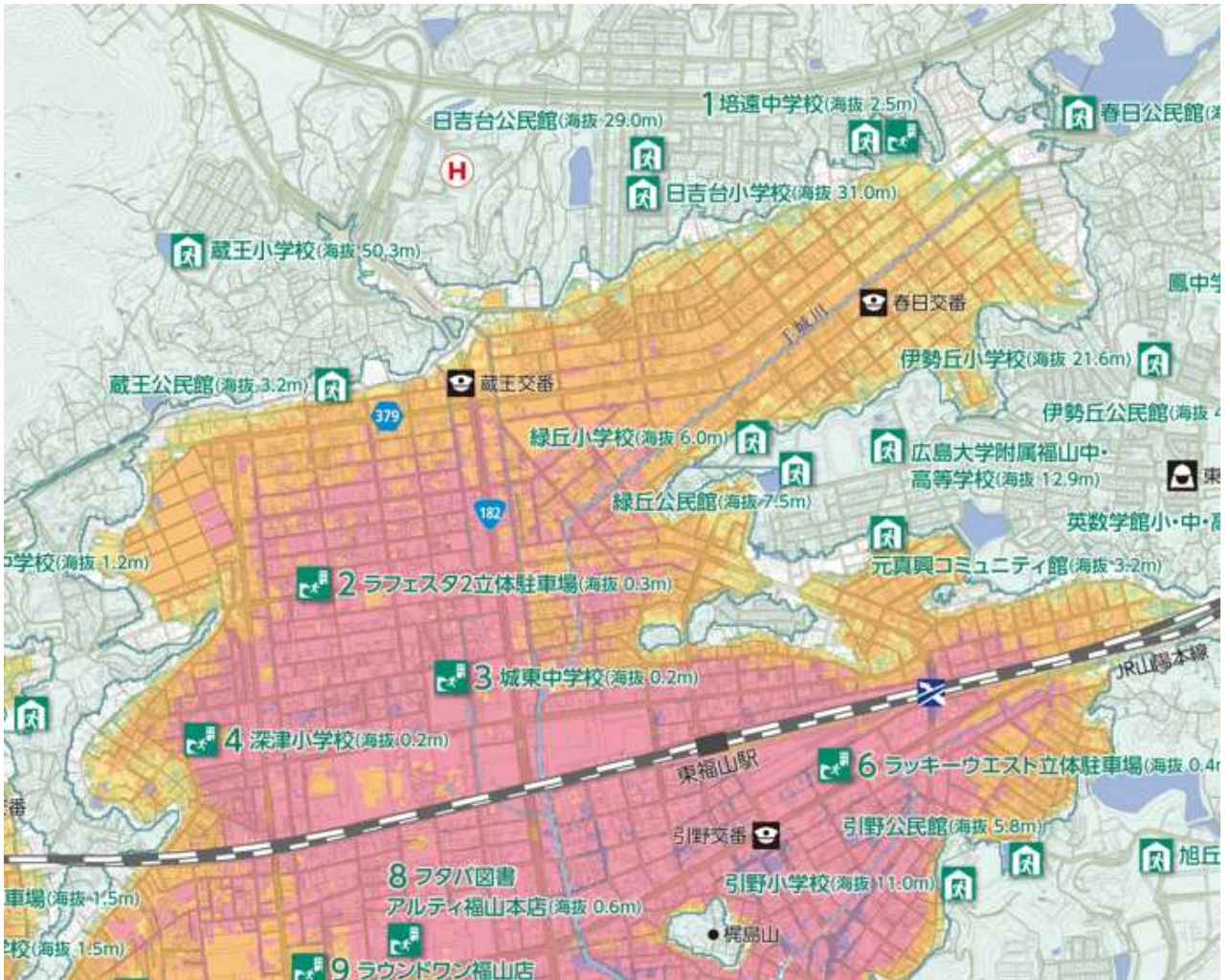
■地震・津波発生時の日吉台学区内及び近隣の緊急避難場所

	緊急避難場所	日吉台学区での該当箇所
1	津波浸水想定区域外	・日吉台小学校 ・日吉台交流館
2	自然地形の高台	・日吉台団地町内会 ・蔵王町12区町内会
3	津波緊急避難場所	・日吉台小学校

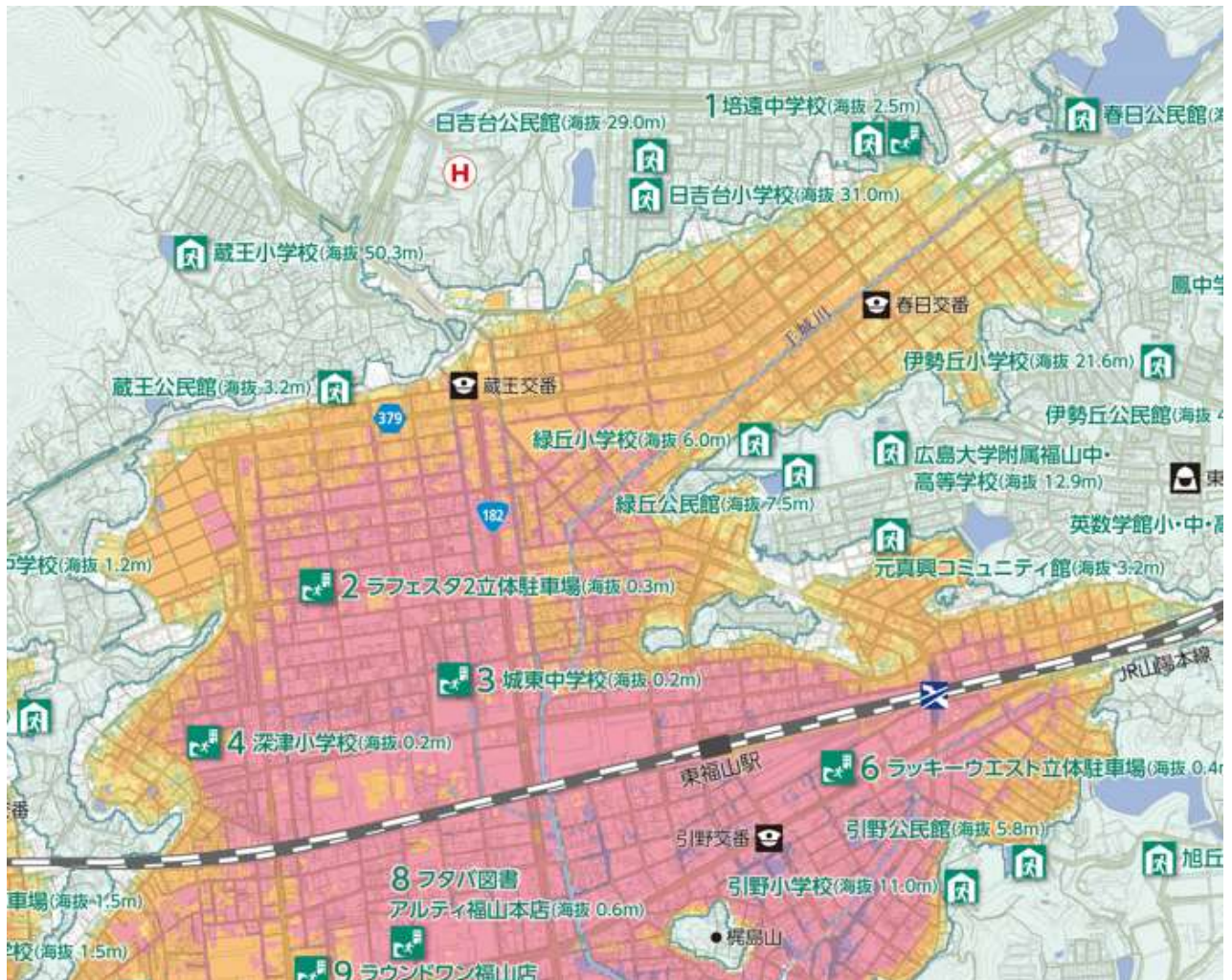
（3）各地域の避難経路図

※自宅からの避難経路は各家庭や隣近所で話し合い、この地図に記入しておいてください。

①浸水想定区域外までの避難行動が可能な場合



②浸水想定区域外までの避難行動ができない場合



10 避難行動の考え（具体的に気を付けること）

【事前】

- 最小限の非常時持ち出し品（食料品・医療品・貴重品等）を用意しておきましょう。
- 家族が離れているときの安全確認の方法を決めておきましょう。

【避難時】

- 落ち着いて速やかに避難行動をとりましょう。
- 原則徒歩で避難しましょう。
- 避難する時は、二人以上での行動を心がけ、近隣の人に避難を促す「声かけ」を行いながら一緒に避難しましょう。
- 夜間の避難は危険なため、できるだけ明るいうちに避難しましょう。

《風水害》

- 長靴は水が入ると動けなくなるため、運動靴等（靴底の厚いもの）にしましょう。
- 浸水している場合は、下水道のマンホールや側溝等に転落しないよう気を付けましょう。
- 飛来物に注意しましょう。

《地震・津波》

- すぐに海岸から離れ、緊急避難場所へ向かって避難しましょう。
- 津波は長時間繰り返すため、一度避難したら自分の判断では戻らないようにしましょう。



(資料編) 防災に役立つ情報

【資料 1】チェックリスト

- 1 地域の危険な場所チェックリスト
- 2 自主防災活動（共助）チェックリスト
- 3 わが家の防災力（自助）チェックリスト

【資料 2】家庭での防災・減災対策

【資料 3】防災マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、台風・大雨などのいつ起こるか分からない風水害から自分や家族の命を守るための「自らの防災行動計画」のことです。

自らや家族のとるべき行動について、「いつ」「誰が」「何をするのか」「避難開始のタイミングをどうするか」などをあらかじめ決め、時系列に整理することによって、いざというときにマイ・タイムラインを活用して、慌てずに避難を行っていただくことを目指しています。

ひろしまマイ・タイムラインのつくり方



【資料1】チェックリスト

1 地域の危険な場所チェックリスト

次の項目にチェックしながら、「地域の危険な箇所」や「地域で起こりそうな災害」を確認しましょう。また、その結果をもとに地区避難計画を作成して、地域で情報を共有しましょう。（地域によっては関係のない項目がありますが、防災対策の参考としてください。）

項目	チェック欄
がけ崩れの危険性がある場所はないか	
がけ崩れなどが起こった場合に土砂が広がると考えられるのはどの範囲か	
海岸や河川等がどこにあるか	
防潮堤や河川堤防、水門の場所はどこか、状況は（老朽化・脆弱性等）	
海拔が著しく低い場所はあるか	
津波で浸水が想定されているのはどの範囲か	
河川の河床より低い場所（天井川）はあるか	
決壊しそうな（したことがある）河川はあるか	
洪水で浸水が考えられるのはどの範囲か	
ため池の護岸の場所はどこか、状況はどうか（老朽化・脆弱性等）	
埋立地や湿地、沼地はないか	
土地が陥没しそうなところはないか	
大雨が降った場合に、浸水しそうな（浸水したことがある）場所はどこか	
地震で倒壊の可能性のあるブロック塀や電柱、街灯、大木などはないか	
地震で落下しそうな看板などはないか	
高層建築物などのガラスが割れて、飛散しそうな場所はないか	
地震で高架道路等から通行車両が転落しそうな場所はないか	
マンホールや貯水槽のフタは大丈夫か（人が落下しそうな場所はないか）	
過去に災害が発生した場所があるか	
危険物や化学薬品等を扱っている事業所はないか	

2 自主防災活動（共助）チェックリスト

災害に備えて、次の項目を一つずつ点検してみましょう

項目		チェック欄
基本活動	災害発生時に自主防災組織が機能する体制ができているか	
	住民が積極的に防災活動に参加しているか	
	地域住民に正確で分かりやすい防災情報の提供ができているか	
	女性や高齢者、障害のある人の意見が地域防災活動に反映できているか	
	定期的に防災訓練を実施しているか	
	防災訓練の際に消防局など専門的な人の意見も参考にしているか	
	過去の訓練を検証し、適宜、見直しや新たな訓練の導入を心がけているか	
自主防本部	災害時に自主防本部を、いつ誰がどこに設置するか決められているか	
	自主防本部や各班の行動マニュアル（行動の取り決め）はできているか	
	自主防本部での情報通信体制は確保されているか	
	災害時に地域の情報を収集（本部へ報告）する方法は決められているか	
	各種防災関係書類（組織台帳、防災資器材台帳、避難行動要支援者台帳）は作成されているか	
避難体制	過去の災害実績や土地利用などを踏まえた防災マップが作られているか	
	地域住民の具体的な避難計画（緊急避難場所・避難経路等）はできているか	
	地域で避難する際のリーダーや声かけのルールが決められているか	
防災倉庫・資器材等	自主防本部で必要な防災用品が準備・保管されているか	
	常時使用できる管理体制になっているか（複数人で鍵を管理するなど）	
	定期的な点検がされているか	
	食料・飲料水は、適宜更新されているか	
初期消火	地域住民（役員等）は、地域の消防水利を把握しているか	
	地域住民（役員等）は、消火栓の使用方法を理解しているか	
	バケツリレーなど、地域の消火方法が周知されているか	
救出救護	建物倒壊時の負傷者救出のための道具は用意されているか	
	負傷者を救護所まで搬送する方法は決められているか	

3 わが家の防災力（自助）チェックリスト

災害に備えて、次の項目を一つずつ点検してみましょう

項目		チェック欄
全般	防災について、家族で話し合いをしているか	
	緊急避難場所までの避難経路を決めているか	
	家族が離れ離れになったときの連絡方法を決めているか	
	非常時持ち出し品を準備しているか	
	地域で発生しそうな災害を把握しているか。	
	家の中の避難通路を確保しているか（物を置いていないか）	
	避難に関する情報の入手方法を把握しているか	
	隣近所とコミュニケーションをとっているか	
	自主防災組織の活動に参加しているか	
地震	自宅の耐震化診断や耐震化の対応はできているか	
	家具の転倒防止策を行っているか	
	寝室や子ども部屋に転倒しやすい家具等を置いていないか	
	緊急地震速報がでた場合の対応を理解しているか	
	地震が発生した場合の行動を理解しているか	
	地震ハザードマップ・津波ハザードマップを理解しているか	
風水害	側溝や排水溝を掃除しているか	
	雨どいに落ち葉や土が詰まっていないか	
	がけの近くを寝室にしていないか	
	気象情報を日頃から注意しているか	
	土砂災害の前兆現象を知っているか	
	洪水ハザードマップを理解しているか	
火災	住宅用火災警報器を設置しているか	
	防災品や耐震機能付きの家電を使っているか	
	ブレーカーの場所や操作方法を知っているか	
	消火器を設置し、使い方を知っているか	
	119番通報の要領がわかっているか	
	電気コンセントを定期的に掃除しているか	

【資料2】 家庭での防災・減災対策

地域で災害に強いまちづくりを進めるためには、まずは家庭で日頃からの準備をきちんと行っておく必要があります。

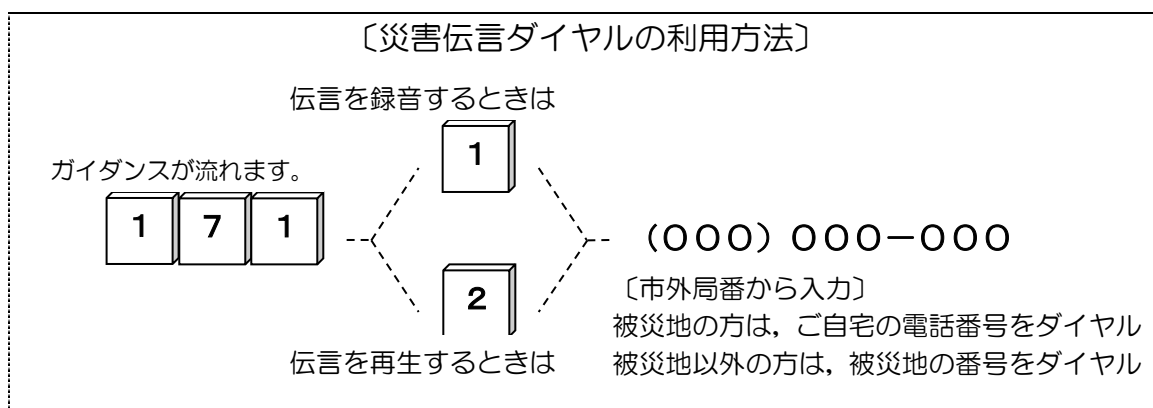
1 避難経路の確認

自宅や勤務先などから安全に避難できる緊急避難場所や避難経路などを確認しておきます。地域で発生しそうな災害は何か、災害によりどんな被害を受けるのかなどを想像しながら、状況に応じて安全に避難できるよう複数の避難経路を確認します。

2 家族や友人との連絡方法の確認

災害が発生したとき、家族や友人の安否が確認できるよう、家庭で連絡方法を話し合っておきます。

(1) 災害伝言ダイヤル「171」を利用する。



(2) 携帯電話の「災害用伝言板」を利用する。

震度6以上の地震など大きな災害が発生したとき、携帯電話上に「災害用伝言板」が設けられます。

伝言の録音	伝言の確認
①トップ画面の「災害用伝言板」を選択	①トップ画面の「災害用伝言板」を選択
②「災害用伝言板」の画面から「登録」を選択	②「災害用伝言板」の画面から「確認」を選択
③伝えたい項目を選択（書き込みもできる）	③相手の携帯電話番号を入れる。
④その画面で「登録」を選択	④その画面で「検索」を選択
⑤伝言の登録完了	⑤伝言の検索結果が表示される。

3 非常時持ち出し品の準備

家族構成に合わせて、非常時持ち出し品を必要な量だけ用意し、すぐに持ち出せる場所に保管しておきます。また、メガネや薬など普段の生活における「自分専用のもの」、自分にとって「なくては困るもの」を常備しておきましょう。

非常時持ち出し品チェックリスト

分類	項目
食料品 ※3日分が目安 (できれば1週間分)	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> 栄養補助食品 <input type="checkbox"/> アメ・チョコレート <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
生活用品	<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 予備電池(モバイルバッテリー) <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 簡易トイレ・紙おむつ(3日分が目安) <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
医療・衛生用品	<input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 処方薬 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
感染症対策用品	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> アルコール手指消毒薬 <input type="checkbox"/> ()
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も忘れずに) <input type="checkbox"/> 通帳 <input type="checkbox"/> 保険証 <input type="checkbox"/> (印鑑) <input type="checkbox"/> 身分証 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
衣料品	<input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> 靴下 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 長袖上着 <input type="checkbox"/> 長ズボン <input type="checkbox"/> 防寒具 <input type="checkbox"/> 雨ガッパ・雨具 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
避難用具	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 防災頭巾 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
ペット用品	<input type="checkbox"/> ケージ <input type="checkbox"/> リード <input type="checkbox"/> ペットシート <input type="checkbox"/> エサ・水 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()

※リストはあくまでも参考です。() 内には必要なものを追加記入するなど、各家庭で必要なものを準備しましょう。

4 家の中や周りの点検・補強

(1) 家の中の点検

- ・タンス、食器棚、冷蔵庫、テレビなどの家具の配置場所を見直す。または、転倒防止器具などで固定する。
- ・食器棚に扉開放防止の器具を取り付ける。
- ・ガラスに飛散防止フィルムを張る。

(2) 家の周囲の点検

- ・アンテナの補強

- ・プロパンガスやクーラー室外機等の固定
 - ・非常用通路の確保（玄関周りなど避難経路に物を置かない。）
- (3) 自宅の耐震化チェック
- ・耐震化診断を受ける。
 - ・耐震化補強を行う。
- （木造住宅の耐震診断・改修の補助については、福山市建築指導課へ相談）

5 情報の収集

- ・気象庁から発表される情報などに注意する。
- ・福山市から避難勧告や避難指示等が発令された場合、速やかに指示に従って適切に行動する。
- ・自らもテレビ，ラジオなどを利用して情報収集を行い，避難が必要と判断した場合は，自主的に避難する。

避難勧告や避難指示等の発令や伝達は，次の方法で行われます。

- 福山市防災行政無線（サイレン，音声伝達）
- 福山市広報車や消防車両などによる広報
- ふくやま防災メールによる緊急メール配信
- 携帯電話事業者による緊急速報メール
- エフエムふくやまのラジオ放送

〔情報の入手先〕

○広島県防災Web
(ホームページ)



○気象庁 キキクル

(あなたの街の防災情報)



(参考) ふくやま防災メールの登録方法

① 次の登録用アドレスへアクセス

bousai.fukuyama-city@raidan2.speecan.jp

または，右のQRコードを読み取って，
空メールを送信する。



② 返信された「メールサービス本登録のご案内メール」から登録画面へアクセスし，利用規約を確認のうえ，「同意する」を押す。（携帯電話に迷惑メールの設定をしている場合などは，設定変更が必要な場合があります。）

③ 配信を希望する地域を選択し登録する。

④ 「本登録完了のお知らせメール」が届いたら登録完了です。